

研究テーマ 互いに認め合い、運動の楽しさとできる喜びを実感できる体育 ～かかわり合い、高め合う大野っ子の育成～	学校名	海南省立大野小学校
	住所	海南省山田91-1
	電話番号	073-482-3524
	研究主任	井筒 寿美
	対象集団	2年A組 男子・女子24名

I 集団の特徴と課題 *Plan*

1 集団の特徴

体を動かすのが好きな児童がほとんどで、体育の授業も意欲的に取り組んでいる。特に「気持ちがいい」「楽しい」「できたらうれしい」などの理由で、「水遊び」「ボール遊び」「とびばこ」が好きな児童が多い。しかし中には、「こわい」「回り技ができない」という理由で「鉄棒」がきらいな児童がいる。

2 集団の課題

新体力テストの結果は、バランスが取れているものの、立ち幅跳び以外は全国平均かやや下回っているという結果であった。女子はD判定に集中し、平均的な児童が多い。男子はA～Eに分かれていて、ばらつきが見られる。

II 取組の内容 *Do*

取組の内容

楽しく運動しながら、体の基本的な動きを総合的に身につけるため「体づくり運動」の領域で取り組んできた。

単元名のサブタイトルを「ズートピア☆オオノ」として、子ども達に動物やトレーナーをイメージさせ、更に運動をゲーム化させながら、多様な動きをつくる運動遊びに取り組んだ。

準備運動には、体ほぐしの運動を取り入れ、ゲームを楽しむ授業の前段階で、本時の内容に関連する易しい運動を経験させた。

◆工夫した点

- ・運動能力の違う4人ずつのグループを作り、互いにかかわらせながら運動させた。
- ・うれしい声かけや、運動のポイントやコツを考えさせ、それを掲示し共有させた。
- ・「見つけたよシート」を持たせ、友達の動きに注目させ、互いに認め合う機会にした。
- ・音楽を効果的に使った。
- ・ストーリーを感じさせるコーナー名をつけ、ボードを自分達で作るようにした。
- ・学習カードの感想を観点別に分けて掲示した。
- ・国語や道徳でも友達とのかかわりについて考える機会をもった。

III 取組の成果 *CHECK*

どの子どもも意欲的に取り組み、のびのびとした動きができた。

子ども同志のかかわり合いが広がることで、運動の意欲や技能が一層向上した。

場を工夫することで、動きのレパートリーが増えた。新しい動きを考える意欲が高まった。

IV 今後の課題 *Action*

子どもの力が十分活かすことのできる単元計画の工夫
 準備体操・学習カードの工夫
 評価の仕方・めあての立て方の検討
 個々の児童に応じた支援の在り方を考える
 体育授業アンケートの実施

|

|